

2016年5月20日
第119号
(Web版第13号)

日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会
JAPANESE ASSOCIATION OF
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 第43回大会実行委員長挨拶
- II 第43回(2016年度)大会 自由報告募集
- III 第43回(2016年度)大会について
- IV 『犯罪社会学研究』の電子公開について
- V 犯罪学セミナー開催のご報告
- VI 各部・委員会報告

※第107号からニューズレターはWebのみで発行しております。

※会員動向につきましては、年間2回、会員のみに詳細版を郵送いたします。

I 第 43 回大会実行委員長挨拶

第 43 回大会の開催にあたって

前田忠弘（甲南大学）

このたび、日本犯罪社会学会第 43 回大会を、甲南大学において開催させていただくことになりました。1997 年の第 24 回大会以来 2 度目の大会をお引き受けできることを大変光栄に存じます。

甲南大学は、7 年制高等学校を経て、1951 年に開学しました。1995 年の阪神・淡路大震災で大きな被害を受けましたが、多くの方々のご支援と大学構成員・関係者の努力によりまして、復興の過程を歩んでおります。現在、8 学部、4 研究科、1 専門職大学院を擁し、2019 年には、学校法人甲南学園創設 100 周年を迎えます。

甲南大学岡本キャンパスへは、西からは新幹線新神戸駅、東からは新大阪駅より約 30 分、JR 神戸線摂津本山駅下車、徒歩 15 分のところにあります。なお関西では、季節に関わらず、多くの外国人観光客をお迎えしており、大阪、神戸の中心部はもちろん、周辺部におきましてもホテルの確保が困難になっております。早めの予約をお勧めいたします。

「犯罪社会学研究」誌の課題研究のいくつか（「少年非行と非行少年処遇の過去・現在・未来」、「刑事司法と福祉の連携の在り方」、「少子・高齢化社会における犯罪・非行対策」など）からは、近年の刑事政策が大きな制度的変革に直面していることをうかがい知ることができます。全くの私見ですが、このような変革期におきまして、様々な分野で指摘されているような担い手の「劣化」や研究活動の「軽視」を座視することがあるとすれば、それは、平穏な市民生活に向けた展望を困難にするように思われます。

最後になりますが、現在、甲南大学岡本キャンパスにおきましては、震災の被害を免れた学生厚生施設の新築工事を行っており、何かとご不便をおかけすることがあるかもしれません。どうかご容赦ください。大会当日は、笹倉香奈会員をはじめ刑事法関係の甲南大学教員とそのゼミ生が会員の皆様をお迎えし、研究活動を真摯にお支えいたします。多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

II 第 43 回（2016 年度）大会 自由報告募集

研究委員会では、会員の皆様の自由報告を募集致します。

●申込方法：E-MAIL

●申込先：hansha2016kenkyu@yahoo.co.jp

※上記以外（例えば学会事務局など）へのお申込みは、ご遠慮下さい。

・ Subject(件名)：自由報告

・ 本文

申込者氏名（所属）：

報告タイトル：

共同研究者氏名（所属）：

プロジェクトの可否：

大会プログラム掲載の報告概要の原稿（150 字以上 200 字以内）：

※大学に所属のある場合、教員等は「〇〇大学」、大学院生は「〇〇大学大学院」と記載して下さい。

※グループの場合、当日報告される方の氏名の前に「〇」をつけて下さい。

※申込者、報告者は、会員に限ります。

●申込締切：2016年6月1日(水)必着

・問い合わせ先：日本犯罪社会学会研究委員会（担当委員：作田誠一郎）

E-MAIL：hansha2016kenkyu@yahoo.co.jp

- * 自由報告は、1名でもグループでも申し込めます。
- * 申込者、報告者は会員に限ります。共同研究者は、会員でなくても構いませんが、当日の報告はできません。
- * 報告時間は、1件30分以内（報告時間：20分程度、質疑応答：10分程度）となります。
- * 1件の申込みにつき1つの報告となります。共同研究者がいる場合でも、時間は変わりませんのでご注意ください。
- * 会員1名につき申込み件数及び報告件数は1件までとなります。ただし、他の報告者の共同研究者となることは妨げません。
- * プロジェクトの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際に必ずご記入下さい。なお、大会当日、報告者ご自身でご持参いただく機材（PC、USBメモリ等）については、使用できる会場の設備が決まり次第、研究委員会からご連絡申し上げます。
- * 申込みの時点で大会プログラムに掲載する報告概要の原稿（150字以上200字以内）をご提出ください。なお、提出したプログラム原稿の訂正は原則として出来ません。
- * プログラム原稿の著作権は、日本犯罪社会学会に帰属致します。
- * 申込みを受理致しましたら、今後の予定について折り返しご連絡致します。もし、返信が無い場合、念のため確認のご連絡を下さいますようお願い致します。

Ⅲ 第43回大会（2016年度）について

第43回大会のシンポジウム、テーマセッション、自由報告は、2016年10月29日(土)、30日(日)に甲南大学岡本キャンパス（兵庫県神戸市）にて開催されることとなりました。現在、予定している事項につきまして、以下の通りご報告致します。

1 タイムテーブル

10月29日(土)

9:00-	受付開始
10:00-12:00	自由報告
12:00-13:00	昼食
13:00-15:00	テーマセッション
15:10-17:10	テーマセッション
17:10-18:00	総会
18:15-	懇親会

10月30日(日)

9:00-	受付開始
10:00-12:00	テーマセッション・自由報告
12:00-13:30	昼食
13:30-17:00	シンポジウム
17:00-17:10	閉会式

2 企画内容について

現在のところ予定しているシンポジウム、テーマセッションのテーマ・コーディネータは次の通りです。

(1) シンポジウム

テーマ：刑事司法と対人援助—誰のために、何を—

コーディネータ・司会：福島 至（龍谷大学）

シンポジスト：指宿 信（成城大学）

水藤昌彦（山口県立大学）

池原毅和（東京アドヴォカシー法律事務所）

森久智江（立命館大学）

(2) 公募企画テーマセッション

*テーマ：脳科学と少年司法

コーディネータ：山口 直也（立命館大学）

*テーマ：子供・女性・高齢者を守るための犯罪予防研究の最近の状況と活用方策

コーディネータ：齊藤 知範（科学警察研究所）

*テーマ：暴力団員と離脱者の人権

コーディネータ：津富 宏（静岡県立大学）

*テーマ：地域生活定着支援事業の現状と課題—全国地域生活定着支援センター調査結果を受けて—（ラウンドテーブル）

コーディネータ：浜井 浩一（龍谷大学）

*テーマ：再犯・再非行防止に向けた調査研究の概要と今後の展望—法務総合研究所における近年の調査研究を中心に—

コーディネータ：高橋 哲（法務総合研究所）

*テーマ：犯罪者を親にもつ子どもの視点から見た被虐待児への支援

コーディネータ：矢野 恵美（琉球大学）

*テーマ：少年法適用年齢の引き下げについて

コーディネータ：正木 祐史（静岡大学）

*テーマ：刑事政策学の復権Ⅱ—社会の変容と刑事政策学の意義—（ラウンドテーブル）

コーディネータ：前田 忠弘（甲南大学）

*テーマ：犯罪加害者への取り組み—社会内への移行を見据えて—

コーディネータ：東本 愛香（千葉大学）

*テーマ：刑罰や刑事司法の信頼等に関する意識調査（インターネット調査）

コーディネータ：津島 昌寛（龍谷大学）

IV 『犯罪社会学研究』の電子公開について

2016年5月3日付けで学会ホームページに掲載したように、「犯罪社会学研究」掲載の論文等について電子公開先の変更を予定しています。

2016年刊行予定の第41号より、学会誌刊行後1年経過時（2017年11月予定）に、科学技術振興機構が提供するJ-STAGE及びEBSCO Publishing社が提供するEBSCO Hostに電子版が掲載される予定となっております。

また、既刊号についても、J-STAGE及びEBSCO Hostに掲載先を変更する予定です。既刊号において論文等を執筆された方で電子公開先の変更に関する異議のある方は渉外広報担当の本庄 (t.honjo@r.hit-u.ac.jp) までご連絡をお願いいたします。

以上につき、詳しくは学会ホームページ

(<http://hansha.daishodai.ac.jp/topics/index.html#denshikoukaisakihenkou>) をご覧ください。

VI 犯罪学セミナー開催のご報告

2016年3月21日（月・祝）に「犯罪学セミナー2016春」が龍谷大学深草キャンパスにて開催されました。本セミナーは、日本犯罪社会学会と文部科学省科学研究費助成事業・新学術領域研究〔法と人間科学〕「犯罪者・非行少年処遇における人間科学的知見の活用に関する総合的研究」との共催、龍谷大学矯正・保護総合センターの後援で行われました。

今回のセミナーは、「実務で使える犯罪学——質的犯罪社会学の最前線」と題し、次のようなプログラム内容で行われました。「質的／量的とは何か？——本セミナーの趣旨説明を兼ねて」（岡邊健）、「ヤクザとは誰か？——ライフヒストリー研究」（廣末登）、「非行少年観の過去・現在・未来——メディア分析」（作田誠一郎）、「社会内処遇現場での犯罪・非行からの立ち直り——参与観察」（相良翔）、「ディスカッション——報告内容をいかに実務・研究に活かすか？」（上田光明・武内謙治＋受講者）。当日は、学会員以外の方も含めて33名の方にご参加を頂き、活発な議論が行われました。

VII 各部・委員会報告

1 研究委員会

（1）前号ニューズレターにて、第43回大会におけるテーマセッションの企画を公募致しましたところ、9件のご応募をいただきました。来年度大会以降も、企画の公募を実施する予定です。会員の皆様からのご応募をお待ちしております。

（2）第43回大会プログラムは、9月に発行の予定です。また、大会に関する今後の情報は、学会ホームページでお知らせ致します。

2 編集委員会

『犯罪社会学研究』41号の自由論文・研究ノートの投稿締切りは2016年5月31日です。HPおよび最新の既刊号所載の投稿規程に従って、下記住所宛にご送付ください。なお、投稿は常時受け付けております。会員の皆様のご投稿をお待ちしております。

本誌が犯罪社会学の自由な学術フォーラムとなることを期待しています。

<自由論文・研究ノートの投稿先>

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10 八ッ橋ビル 7階 現代人文社気付
日本犯罪社会学会編集委員会

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問につきましては、下記までお寄せください。

<編集委員会事務局>

hanshahenshu16@gmail.com

3 渉外広報委員会

渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。年度ごとに2件、1件あたりの助成金は40,000円です。本助成を申請する際には、事前に申請責任者の名前と住所ならびに所属、研究会の名称、助成を申請する研究会の開催日時・開催場所・内容（テーマ、タイトル等）を、渉外広報委員会までご連絡ください。連絡先は下記のとおりです。受付後、速やかに審査手続きを行い、採否を通知いたします。なお、研究会開催後の申請は受け付けておりません。採用が決定した際には、渉外広報委員会より助成金の振り込みを行います。後日、申請責任者には、領収書の提出等の事務手続きを担当していただきます。

相応しい企画がございましたら、是非積極的にご応募くださいませ。

連絡先：本庄 武 (t.honjo@r.hit-u.ac.jp)

日本犯罪社会学会事務局 (hansha@daishodai.ac.jp)

4 本部事務局会計部

会費納入のお願い

まだ2016年度の会費をお支払い頂いていない方は、郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 7,000円

但し、院生会員 6,000円（大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員）

国外会員 7,000円（国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員）

郵便振替口座 00950-2-148284

加入者名 日本犯罪社会学会

会費を3年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なされたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意ください。

5 本部事務局庶務部

(1) 献本（2015年12月26日～2016年4月20日現在）

下記の通り献本がありました。ご報告少々、お礼申し上げます。

- ・桜井昭男編著『社会福祉施設における文書等のアーカイビングに関する事例研究』
- ・大淵憲一監修『紛争・暴力・公正の心理学』北大路書房
- ・龍谷大学 矯正・保護総合センター編『龍谷大学 矯正・保護総合センター 研究年報』第5号
- ・法務総合研究所『法務総合研究所研究部報告“性犯罪に関する総合的研究”』第55号

- ・龍谷大学 矯正・保護総合センター『キャンベル共同計画 介入・政策評価系統的レビュー』第10号
- ・龍谷大学矯正・保護課程委員会編『矯正講座』第35号

以上6冊

(2) 会員数 (2016年4月23日現在)

一般会員 454名、名誉会員 11名、終身会員 1名、特別会員 2団体、合計 468名

※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間2回、会員動向の詳細版を郵送いたします。

お願い

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。

事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

TEL : 06-6618-4324 (月～金 10:00-16:00)

FAX : 06-6781-8883

E-mail : hansha@daishodai.ac.jp

.....
*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。